

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

1. 川上地区

- (1) 新築マンションや戸建ての建築が進み他都市からの転居世帯(若い世代)が増えています。地域の結束力は強く一人暮らし高齢者等の助け合い活動も行われています。
- (2) 地形的に坂道が多いため、バス路線から離れた地域の高齢者には移動のための交通手段が課題となっています。令和2年度から地域主体による交通サービスの導入及び移動販売の実施に向けた検討が始まり、令和3年度には移動販売が実施されました。
- (3) 公共施設が少なく、地域活動は小学校、コミュニティハウスや自治会町内会館を利用しています。
- (4) 地区社会福祉協議会(以下、地区社協)が組織として機能しています。情報の収集発信及び活動団体の取りまとめ役を果たすなど、中間支援組織として一定の役割を担っています。

2. 東戸塚地区

- (1) 高齢化が進んでおり、特に県営川上第一団地の高齢化率は49%、第二団地は59%を超えた状況です。令和3年度には、第二団地でも移動販売はじまり両団地において買い物支援が実施されています。
- (2) 自治会町内会は組織されているものの、連合未加入のマンションもあり地区社協などの地域活動の推進が難しい地域です。しかし、自治会町内会は、住民同士のつながりを深めようと「ごみ拾い」や「夏祭り」、地区連合として「体育大会」や「凧揚げ大会」など様々な行事を開催しています。

3. 東戸塚地区～駅周辺エリア

- (1) 1980年に東戸塚駅が開業し1990年代後半からマンションの建設含め駅前再開発が始まった新しいまちであり、自治会町内会組織率や加入率が低く、地域のコミュニティづくりが課題となっています。
- (2) 高齢者住宅(マンション)の建設もあり、他都市からの転居者(一人暮らし高齢者)が増えています。
- (3) 一部の自治会では、助け合い活動などが行われているマンションもあります。
- (4) 企業・店舗が多く、地域とのネットワークを築くため「絆の会」や「東戸塚商店会」を組織しており、地域貢献に参加する意識・土壌があります。

4. 今後の方向性

令和3年度から、第4期地域福祉保健計画が施行され、今後は推進に向け地域での調整や取組が行われます。また、新型コロナウイルスの影響により中止された地域活動の再開に向け地域で検討が継続されています。

- (1) 川上地区は、“ちょボラ”グループが町内別にそれぞれ2グループあり、また地区社協主催による地域の活動団体が集う「活動委員会」の開催など組織化された取組はあるものの、地域活動者(担い手)の高齢化等で人手不足が課題となっています。若い世代の転入者が多いので、新たな人材が地域づくりに関わられるような仕掛けを地区連合や地区社協とともに進めていきます。
- (2) 東戸塚地区は、駅周辺とその他のエリアでは地域特性が違うため、それぞれに応じた支援に取り組みます。駅周辺は連合未加入のマンションが多く、地域の情報が行き渡らないなど住民同士のつながりが希薄であるのが現状です。連合未加入マンションについては、管理組合等と新たな連携の仕組みをつくるなどして地域づくりを進めます。また、高齢化率の高い県営団地エリアは地域活動者の高齢化や人手不足を補うべく、企業・店舗や病院、高齢施設等の社会資源を活かした支援体制をさらに継続・発展させていきたいと考えます。企業・店舗、病院、専門学校や大学などのあるこの地域ならではの特性を活かし、より強い信頼関係の中で連携がとれるよう日頃からの地域課題及び情報の共有を図ります。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	■	<p>【相談・支援(地域ケアプラザのPR)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「断らない相談支援」を目指しニーズの的確な把握や複合的なニーズへの対応など、幅広い相談に対応できるように、日頃から区役所や関係機関と連携を図り、顔の見える関係作りを行う事で、対象者への情報提供や対応を速やかにいきます。 ・子育て世帯向け講座などを開催し、地域住民が新たに地域活動につながるためのきっかけ作りを行います。
<input type="checkbox"/>	■	<p>【職員体制・育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成制度の運用により、職員の定着を図るとともに、計画的な人材育成を行います。 ・5職種会議を毎月開催し、各自役割の進捗状況を確認し、全職種が参加する職員会議では、地域情報を共有します。また、地域ケア会議の開催については、内容により担当者を変えるなど、職種を横断した課題解決に向けた体制づくりとともに個々のスキルアップを図ります。
<input type="checkbox"/>	■	<p>【認知症支援事業】</p> <p>これまでイベントとして開催していた「あったかハートin東戸塚(認知症サポーター養成講座)」等について、感染症の影響を勘案し出張講座に開催方法を見直して展開します。また、地域住民や企業、サービス事業者や医療関係者等との連携を深め、支援体制づくりを進めます。</p>
<input type="checkbox"/>	■	<p>【権利擁護業務】</p> <p>高齢者の権利を守るための「身近な相談窓口」として迅速かつ適切な対応を行うとともに、専門機関との協働を実施します。また、近隣の地域ケアプラザとの協働事業『ものしり大学』等を通じて、権利擁護の理解・認識がさらに広がるよう取り組みます。</p>
■	<input type="checkbox"/>	<p>【地域福祉保健計画の推進及び地域活動の再開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に施行された区地域福祉保健計画の推進にあわせ、改めて新型コロナウイルスの影響により中止や延期が続く地域活動について活動再開にむけ働きかけを行います。なお、これにあたり介護予防ボランティアの育成・支援を行うことで、新たな地域人材や活動の定着も促します。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

新型コロナウイルスの影響による社会変化に応じた地域福祉活動の推進を支援するとともに、増加傾向にある相談に対して、市民に身近な福祉・保健の相談窓口として適切に対応をできるよう取組を進めました。

○地域福祉保健活動の支援について

- ・地域福祉保健活動計画の推進のため、ウォーキングなど、健康増進をテーマとした取組について各地区での開催支援を行った。
- ・また、把握した地域ニーズに基づき、介護予防ボランティアをテーマとした事業を開催。新規の担い手の育成を行った。
- ・昨年度開始された買い物支援の地域活動について運営を支援し、担いでの育成について検討するなど活動継続に向けた働きかけを行った。
- ・移動に課題を抱える地域について、住民主体での事業実施に向け、情報共有等の側面支援を行った。
- ・認知症サポーター養成講座について、区認知症キャラバンメイト連絡会の協力により、民生委員児童委員協議会、連合自治会及び地区社会福祉協議会などと連携し、複数回開催した。
- ・ボランティア連絡会において交流会を開催した。意見交換から学生等異世代との交流会の開催につながり団体間の連携を支援した。
- ・包括支援センターと民生委員児童委員協議会での意見交換会を開催し、地域での見守りについて連携を深めた。

○総合相談窓口として機能向上について

- ・広報紙を法人HPで掲載するとともに、自治会町内会等、地域の福祉保健団体への配布し周知を行った。その他、近隣の企業、商店等への訪問等による事業チラシの配架依頼や、他の地域福祉関係団体のHPへの掲載依頼を行い情報発信を継続した。
- ・感染症拡大により生じた新たな相談ニーズに柔軟に対応するため、オンライン相談用の機器の整備を行った。
- ・区所管課、近隣の介護保険事業所、基幹相談支援センター、子育て支援拠点等の専門基幹や、民生委員児童委員などの地域福祉保健団体などと連携を図り、「断らない相談窓口」となるよう取組を行った。
- ・権利擁護や介護予防の推進のため専門家との連携による相談支援や啓発事業の開催を行った。
- ・継続的な人材募集を行うとともに、法人の人材育成計画に基づく研修や、人事考課制度の運用、法人内外の会議等への出席、所内の部門を超えた定例会議の開催を通じて、職員の資質向上に努めた。

区からのコメント

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止に留意しながら、各地域で様々な活動が少しずつ再開していく年となりました。世代や分野を問わず、様々な相談を受け止めることで地域の困りごとや住民のニーズを把握し、各職種の専門性を生かしながら取組を進めてくださっています。

東戸塚地域ケアプラザでは、子育て世代向けの企画を積極的に行っているのが印象的です。父親にスポットをあてた講座等を進められているのも世の中の動きやニーズをよくとらえられていると思います。ぜひ今後も続けていっていただきたいです。

地域包括支援センター運営事業においては、身近な福祉・保健の拠点として、保健師等、社会福祉士等及び主任介護支援専門員等のチームアプローチで介護予防支援や包括的支援を行っていただきました。

次年度も地域ケアプラザの強みを生かし、専門的な支援と地域住民による支援の両輪で進めていただきたいと思います。戸塚区民の安全・安心のために、地域ケアプラザと区役所で力を合わせて取り組んでいきましょう。

令和4年度横浜市東戸塚地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> 公正中立な情報提供 利用者へ居宅介護支援事業所を紹介する際は、複数の事業者の情報を伝え、相談者が選択でき、不利益が生じないよう情報提供することに努めます。 介護保険事業所との公正・中立な連携 公正・中立に情報提供が出来るよう、ホームページなどを活用して、特定の事業所に情報が偏らないようにします。 貸館業務における中立性の確保 利用方法について周知を行うとともに、規定に基づく運用を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 法律や関連する所内規定を遵守し、社会福祉を担う職員として、公私ともに常に良識を持った行動をとることを心がけます。その取組として、所内研修を開催するとともに、法人で定める「コンプライアンスハンドブック」を全職員が携帯し、法令等を遵守し業務にあたります。 ご意見箱や苦情解決制度等の適切な運用を行い、市民の願いや期待に応え、行動することを目指します。 地域福祉の推進役として職員一人ひとりが改革意識をもって考え、行動し、市民や関係機関との協働のもと、地域の福祉課題の解決に取り組みます。
実績	<p>相談時や利用者に情報提供をする際には、ホームページ等を活用し、複数の事業所を提示することで公正中立な情報提供に努めました。</p>	<p>全職員を対象にコンプライアンス研修を開催するとともに、日頃の定例会議にてヒヤリハットや他のケアプラザ等の事故事例を共有し、意識啓発を行いました。また、『コンプライアンス推進ハンドブック』を全職員が携帯し、日頃の業務における法令遵守への意識付けを行いました。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>区役所、サービス提供事業所、保健・医療・福祉の関係機関と連携を図り、生活支援コーディネーターや地域活動交流コーディネーターとの情報共有及び協力体制をつくり、取り組みます。</p>	<p>利用者の意思を尊重し、誰もが住み慣れた地域で孤立せず、居場所や役割を持ち、可能な限り自立した生活が送れることを目標として居宅サービス計画を作成します。また、区や地域包括支援センター、特定介護予防支援事業者との連携を通じて、公正中立な立場で切れ目のない支援を行います。</p>
利用料金・実費負担		<p>担当者が、サービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その利用した公共交通機関の運賃実費を徴収いたします。</p>
職員体制	<p>管理者 1名(常勤兼務)、保健師 1名(常勤兼務)、主任ケアマネジャー 1名(常勤兼務)、社会福祉士 3名(常勤兼務2名、非常勤専従1名)</p>	<p>管理者 1名(常勤兼務)、介護支援専門員 4名(常勤兼務1名、非常勤専従3名)</p>
契約者数	298件	132件

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	・利用者の「自立支援」「個別性」を尊重したサービスを提供するとともに、あわせて質の向上を図り、利用者・家族・関係機関から信頼される事業を展開します。		
実施体制	【実施日数】 359日(12/29日～1/3までは休業) 【提供時間】 午前10時15分～午後3時20分 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実負担	食費800円		
職員体制	管理者 1名(常勤兼務)、生活相談員 7名(常勤兼務3名、非常勤兼務4名)、看護職員 4名(非常勤兼務4名)、介護職員 15名(常勤兼務3名、非常勤兼務12名)、機能訓練指導員 4名(非常勤兼務4名)		
契約者数等	【延べ利用者数】8357名 【契約者数】111名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「横浜市東戸塚地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,468,017		18,468,017	18,680,467	△ 212,450	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	81,500	△ 81,500	
横浜市による運営支援			0	709,000	△ 709,000	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
横浜市による運営支援（追加分）			0		0	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による追加分の運営
横浜市による運営支援（その他）			0		0	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援（そ
雑入	0	0	0	400	△ 400	
印刷代			0	400	△ 400	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	3,510,500		3,510,500	0	3,510,500	施設利用料相当額、利用料収支の活用
収入合計	21,978,517	0	21,978,517	19,471,367	2,507,150	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,650,496	0	12,650,496	10,154,158	2,496,338	
本俸	8,920,500		8,920,500	7,538,363	1,382,137	
社会保険料	705,000		705,000	694,824	10,176	
手当計	2,783,000		2,783,000	1,821,356	961,644	
健康診断費	11,000		11,000	4,714	6,286	
勤労者福祉共済掛金	7,000		7,000	6,750	250	
退職給付引当金繰入額	223,996		223,996	87,532	136,464	
その他	0		0	619	△ 619	
事務費	1,946,331	0	1,946,331	1,891,135	55,196	
旅費	20,000		20,000	9,484	10,516	
消耗品費	400,000		400,000	405,576	△ 5,576	
会議賄い費	1,000		1,000	10,994	△ 9,994	
印刷製本費	160,000		160,000	75,000	85,000	
通信費	320,000		320,000	639,477	△ 319,477	
使用料及び賃借料	500,000	0	500,000	46,375	453,625	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	500,000		500,000	46,375	453,625	
備品購入費	200,000		200,000	175,621	24,379	
図書購入費	10,000		10,000	0	10,000	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	9,836	164	
職員等研修費	5,000		5,000	0	5,000	
振込手数料	2,000		2,000	27,760	△ 25,760	
リース料	20,000		20,000	145,200	△ 125,200	
手数料	10,000		10,000	5,030	4,970	
地域協力費	3,000		3,000	3,000	0	
その他	285,331		285,331	337,782	△ 52,451	
事業費	306,000	0	306,000	307,232	△ 1,232	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	306,000		306,000	307,232	△ 1,232	
その他			0	0	0	
管理費	5,058,000	0	5,058,000	7,087,909	△ 2,029,909	
光熱水費	2,700,000		2,700,000	4,974,645	△ 2,274,645	
清掃費	1,100,000		1,100,000	1,071,976	28,024	
機械警備費	10,000		10,000	30,474	△ 20,474	
設備保全費	948,000	0	948,000	670,383	277,617	
空調衛生設備保守	200,000		200,000	265,788	△ 65,788	
消防設備保守	30,000		30,000	0	30,000	
電気設備保守	92,000		92,000	0	92,000	
害虫駆除清掃保守	26,000		26,000	12,723	13,277	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	600,000		600,000	391,872	208,128	
共益費	0		0	0	0	
その他	300,000		300,000	340,431	△ 40,431	
修繕費	474,000		474,000	377,291	96,709	予算：指定額
公租公課	1,543,690	0	1,543,690	990,869	552,821	
事業所税			0	0	0	
消費税	1,543,690		1,543,690	990,869	552,821	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	21,978,517	0	21,978,517	20,808,594	1,169,923	
差引	0	0	0	△ 1,337,227	1,337,227	

自主事業費 収入	0	0	0	81,500	△ 81,500	
自主事業費 支出	306,000	0	306,000	307,232	△ 1,232	
自主事業 収支	△ 306,000	0	△ 306,000	△ 225,732	△ 80,268	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「横浜市東戸塚地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	34,997,904		34,997,904	34,997,904	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	0	0	
雑入	0	0	0	27,272	△ 27,272	
印刷代			0	27,272	△ 27,272	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	8,716,000		8,716,000	8,716,000	0	利用料収支の活用
収入合計	49,669,904	0	49,669,904	49,697,176	△ 27,272	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	45,134,000	0	45,134,000	32,677,431	12,456,569	
本俸	27,000,000		27,000,000	14,636,630	12,363,370	
社会保険料	5,000,000		5,000,000	3,901,929	1,098,071	
手当計	12,300,000		12,300,000	12,119,971	180,029	
健康診断費	60,000		60,000	38,843	21,157	
勤労者福祉共済掛金	30,000		30,000	26,750	3,250	
退職給付引当金繰入額	744,000		744,000	1,950,352	△ 1,206,352	
その他			0	2,956	△ 2,956	
事務費	2,143,000	0	2,143,000	1,380,618	762,382	
旅費	50,000		50,000	34,355	15,645	
消耗品費	160,000		160,000	160,748	△ 748	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	35,000		35,000	56,972	△ 21,972	
通信費	360,000		360,000	582,684	△ 222,684	
使用料及び賃借料	250,000	0	250,000	22,745	227,255	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	250,000		250,000	22,745	227,255	
備品購入費	50,000		50,000	92,791	△ 42,791	
図書購入費	10,000		10,000	0	10,000	
施設賠償責任保険	5,000		5,000	2,614	2,386	
職員等研修費	15,000		15,000	0	15,000	
振込手数料	10,000		10,000	7,350	2,650	
リース料	12,000		12,000	145,200	△ 133,200	
手数料	17,000		17,000	0	17,000	
地域協力費	20,000		20,000	0	20,000	
その他	1,149,000		1,149,000	275,159	873,841	
事業費	1,104,000	0	1,104,000	688,032	415,968	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000	0	100,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	151,172	2,828	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	220,000		220,000	32,860	187,140	
その他			0	0	0	
管理費	1,162,904	0	1,162,904	2,011,769	△ 848,865	
光熱水費	750,000		750,000	1,322,373	△ 572,373	
清掃費	280,000		280,000	284,955	△ 4,955	
機械警備費	5,000		5,000	8,100	△ 3,100	
設備保全費	127,904	0	127,904	178,200	△ 50,296	
空調衛生設備保守	40,000		40,000	70,652	△ 30,652	
消防設備保守	10,000		10,000	0	10,000	
電気設備保守	25,000		25,000	0	25,000	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	3,381	6,619	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	42,904		42,904	104,167	△ 61,263	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	218,141	△ 218,141	
修繕費	126,000		126,000	100,289	25,711	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	49,669,904	0	49,669,904	36,858,139	12,811,765	
差引	0	0	0	12,839,037	#####	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	474,000	0	474,000	184,032	289,968	
自主事業 収支	△ 474,000	0	△ 474,000	△ 184,032	△ 289,968	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 横浜市東戸塚地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:東戸塚地域ケアプラザ

年4月1日～ 年3月31日

(単位:千円)

科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入															
介護保険収入				16,578	17,523	-945	28,714	20,697	8,017	77,280	73,053	4,227			0
その他	0	0	0	0	0	0	2,275	0	2,275	7,739	77	7,739	0	0	0
事業・負担金収入			0			0	2,275	0	2,275	7,689		7,689			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
その他			0	0		0			0	50		50			0
収入合計(A)	0	0	0	16,578	17,523	-945	30,989	20,697	10,292	85,019	73,130	11,889	0	0	0
支出															
人件費			0	5,593	6,105	-512	24,929	18,631	6,298	60,022	58,646	1,376			0
事務費			0	19	16	3	61	95	-34	332	483	-151			0
事業費			0	9,020	9,197	-177	1,083	874	209	24,373	25,296	-923			0
管理費			0		0	0			0			0			0
その他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
消費税			0			0			0			0			0
介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
その他			0			0			0			0			0
支出合計(B)	0	0	0	14,632	15,318	-686	26,073	19,600	6,473	84,727	84,425	302	0	0	0
収支 (A)-(B)	0	0	0	1,946	2,205	-259	4,916	1,097	3,819	292	-11,295	11,587	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	お茶のみ会	平成6年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	介護予防 地域参加へのきっかけづくり 仲間づくり	1:高齢者	5	茶話会・季節行事等による高齢者の交流会	22	638
2	あったまり場	平成20年度	1地域交流	1:優先的に取り組み	精神障害者活動支援	2:障害児・者	5	ボランティアと協働して行うこころの病をかかえた方のためのフリースペース	12	72
3	東戸塚VERYの会	平成27年度	1地域交流	1:優先的に取り組み	子育てに関する情報交換 ダブルケアへの取り組み	3:養育者及び乳幼児	5	東戸塚地域ケアプラザエリア在住のおおむね35歳以上の高齢初産者、高齢出産者を対象とした会	12	99
4	めいめい庵	平成16年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	介護者支援 虐待予防	1:高齢者	5	介護者のための懇談会	6	63
5	りとるありんこクラブ	平成13年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援 仲間づくり 情報交換の場の提供	3:養育者及び乳幼児	5	1歳から3歳までの子どもと養育者の育児サークル	21	703
6	おじさんボランティア助っ人隊 (定例会)	平成15年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	ボランティアグループ支援 高齢・障がい世帯支援	1:高齢者	2, 3, 5	ボランティア需給調整 地域ボランティア定例会への参加、アドバイス	12	135
7	夜間飛行	平成元年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	障害者の余暇活動支援 親への支援 地域への理解啓発	2:障害児・者	5	18歳以上の主に知的障がい者を対象とした青年学級 季節の行事等を通じてボランティアや仲間同士の交流を図る 親への情報提供等支援を行う	21	315
8	しゅっぱぽ	平成14年度	1地域交流	1:優先的に取り組み	子育て支援 仲間づくり 情報交換の場の提供	3:養育者及び乳幼児	5	品濃町・上品濃・川上町にお住まいの8ヶ月から2歳児までの子どもと養育者の育児サロン	11	381
9	はれやか通信さんぽみち編集 会議	平成16年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザエリア内の情報を地域住民に向けて発信	7:その他		地域ボランティアも含む編集委員会を開催し、各月で発行している広報紙「はれやか通信さんぽみち」の作成および発行 メールで原稿作成、校正を行った	2	6
10	東戸塚ボランティア連絡会	平成25年度	1地域交流	1:優先的に取り組み	ボランティア活動者支援	3:養育者及び乳幼児		ボランティア、地域活動者による連絡会・交流会	7	87
11	アミーコ	平成24年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援 仲間づくり 情報交換の場の提供	3:養育者及び乳幼児	4,5	関係団体や地域との交流を図る機会として事業開催 ・じゃがいもほり体験 ・パパ広場 ・絵本の貸し出し	15	124
12	男の井戸端会議	令和元年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	仲間づくり 生きがいづくり	1:高齢者	5	60歳以上の男性を対象とした交流会	12	265
13	GoGo健康講座/からだメンテナンス講座	平成18年度	7共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	介護予防 地域参加へのきっかけづくり 仲間づくり	1:高齢者	5	介護予防普及啓発事業GoGo健康！講座 運動、栄養、口腔ケアに付いて各講師を招き、高齢者が自ら介護予防に取り組むことへのきっかけを作る。	8	127
14	初めてのスマホ講座	平成28年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	スマートフォンの使用方法について学び、 家族や友人、地域活動においてのコミュニケーションツールとして活用できる機会とする。	1:高齢者	5	スマートフォンの特長、種類、使用時の心がけ、料金体系、指の使い方などの基礎 ①電話のかけ方、カメラ機能の使い方など ②LINEの使い方、QRコードの読み取り方など	2	26
15	介護予防体操教室 「楽ちん体操さずり会」	令和4年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	介護予防 地域参加へのきっかけづくり 仲間づくり	1:高齢者	5	定例で活動の場を作り、介護予防や仲間同士の緩やかな見守りにつなげる。 また 支援者として地域活動に参加できるようスキルアップ講座棟を行う	11	126
16	絵本の読みかせ(ことのは)	令和4年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	ボランティア活動 仲間づくり 生きがいづくり	5:地域		定例会(1回/月)、お話し等ケアプラザ内外でのボランティア活動を行う。また新たな仲間作りも視野に入れ他の活動団体への見学やスキルアップのための講座なども行う	19	277
17	ぶちだがしが楽校	平成27年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	・地域交流の場 ・世代間交流 ・ボランティア活動体験	4:子ども・青少年	3, 5	ボランティア活動体験の場、地域活動者との交流、発表の場等、様々な場面を通して地域とのつながりを持つことの大切さを収支する。	2	176

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業			1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
18	ボランティア入門講座	令和元年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ボランティア養成 仲間づくり 生きがいづくり	5:地域	1	ボランティア養成講座 関係機関、施設、事業所の協力を得て多様な場面で連携を図る ・絵本の読み聞かせ講座等	2	27
19	うたごえ喫茶かがやき	平成19年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	高齢者支援 介護予防 仲間づくり	1:高齢者	5	歌うことで介護予防につなげる 仲間づくり 委員会(事前検討会)	5	72
20	貸館利用団体交流会	平成21年度	1地域交流	1:優先的に取り組み	・会場利用に関するルール認 ・コロナ禍における利用方法周知 ・団体相互の交流	5:地域	1, 2, 3, 4,	令和5年4月利用分に関する予約申込変更点説明 利用時のルール説明と確認 参加団体の活動紹介を行った	4	77
21	介護予防ボランティア養成講座 つながりあう地域を目指して	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	高齢者の虚弱の進行を防止、介護予防にとって大切な、身体機能を改善・向上させるための体操を学び、地域に広げるボランティアを養成するため実施。	1:高齢者	5, 7	① ボランティアの心得 ② ③ ハマトレをやってみよう	3	35
22	障がい理解講座	平成31年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	障がいについて、また障害有無に関わらず暮らしづらさを感じている人について、理解を深めることで、地域の中での助け合いの輪を広める	5:地域	6, 7	精神科医師を講師迎え、病気の種類や症状だけでなく、対応法や地域で見守りことの必要性等を学び、理解を広める	1	27
23	ボランティアのつどい		7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザエリア内でボランティア活動をしている個人、団体へ感謝を伝えるとともに、交流の機会を持つこと相互のつながりを作ることを目的とする	5:地域	1, 2, 7	音楽療法体験 交流	1	28
24	民生委員との情報交換会	令和2年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	各地区の民生委員との関係性づくり	1:高齢者	7	各地区の民生委員との関係性づくり	0	0
25	権利擁護啓発事業	R3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	権利擁護についての普及啓発	5:地域		遺言書を書いてみよう 弁護士相談会	0	0
26	もりのしり大学	H21年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	権利擁護啓発 専門職との連携 近隣のケアプラザとの連携 住民参加	5:地域		昨年度作成のDVDを利用した出前講座	0	0
27	ちょぼら交流会	R3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	家事援助ボランティア団体の支援を目的とした交流会	5:地域		参加団体の活動情報の共有等を通じたのスキルアップ。第3四半期に開催。	0	0
28	サロン交流会	R3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	居場所事業を展開するボランティア団体の支援を目的とした交流会	5:地域		参加団体の活動情報の共有等を通じたのスキルアップ。第3四半期に開催。	0	0
29	平戸CP共催 KITTYメソッド事例検討会	H31年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーのスキルアップ	6:事業者		ケアマネジャーのアセスメント力等を強化することで、相談援助のスキルアップを図ることができ、各事業所での事例検討での活用を行うことができるようになる。	2	17
30	民生委員とケアマネジャーの懇談会	R3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	民生委員とケアマネジャーの関係性づくり	6:事業者		民生委員とケアマネジャーの顔の見える関係性づくりを行い、地域包括ケアシステムの強化を図ることができる	0	0
31	地域活動を知ろう	R3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域活動者とケアマネジャーの関係性づくり	6:事業者	5	地域で活動されているボランティア団体やサロン活動を知ることで、ケアマネジャーの作成するケアプランの中でフォーマルとインフォーマルを組み合わせたプラン作成を行うことができる。	0	0
32	折れない心を育てるレジリエンス研修	R3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	多職種連携など	6:事業者		逆境にあってもそれを乗り越える力をつけることができるようになる。	0	0
33	民生委員との情報交換会	R2年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	各地区の民生委員との関係性づくり	5:地域		民生委員の情報と包括の情報のすり合わせを行うことで、地域とともに支援を行っていく。	3	20
34	脳活性化そろばん塾	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防 認知症予防	1:高齢者	5	そろばんを使った脳トレ。認知症予防のためのプログラム。	1	18